

決戦の年！年間増勢・署名パワーで

9条守れ、消費税10%阻止！

4月22日（日）に大商連第72回定期総会が開催されました。吹田からは9名が参加し、大阪全体の活動に学んで吹田に生かそうと決意をしました。感想をお聞きしました。

千里丘支部 田丸さん 組織建設

役員作りの難しさ。新入会員に班会で役員になってもうことを考えるがなり手が少ないのが多くの民商の「悩みの種」です。青年部や婦人部を作り、活動を通じて頑張ろう！と前向きな言葉を聞き少しでも手伝いと思えました。

吹南支部 塚本さん 経営自治体

どの民商も経営の重要性を認識しているものの、参加人員を集めるのに苦労している様子です。人を集める工夫をする。ただ声をかけるだけではダメである。という声が多い中、民商をもっと利用してもらおう。利用してもらえらる幅を民商が持つべきであると感じています。経営対策の活動を面白いものに変えるところからはじめたいです。

中央支部 桑島さん 自主計算

今年は憲法改悪、消費税10%増税・複数税率・インボイスをめぐる「決戦の年」と位置付けた総会でした。共同の力で戦い、戦いを通じて会員や地域の信頼を勝ち取り組織づくりや拡大に結び付けようとしていました。私は、自主計算活動の分散会に参加しました。ある年配の男性は16年間介護した奥さんに先立たれ落ち込んでいた時にも、たびたび仲間がかけつけ元気づけられたことに感謝、みんなのために活動しようという決意を報告されました。この方はPCに強く会計ソフトを開発したそうです。また自主計算とは少し外れた部分もありましたが楽しい分散会でした。私は吹田民商でのインボイスについての学習の紹介をしました。参加者のレベルは昨年より高かったと感じました。

事務局 布施さん 税金対策

昨年から引き続き調査を闘っている役員さんから報告がありました。始めは行政指導・申告のお尋ねから始まったのに、事前通知もせずに、「税務調査だ。」「税務署に書類と印鑑を持ってこい。」と不当な調査を進めようとされていて、電話でのやり取りを全部録音して不当調査と闘っているとの報告でした。大商連方針では税務調査の経過を個人情報開示請求で取り寄せてことを方針に掲げられており、大切な闘い方だと感じました。また各民商でも消費税廃止連絡会として他団体と共同で署名宣伝行動を粘り続けていくこと、複数税率・インボイス制度を会内でどうやって周知し、増税反対の運動に結びつけるかを討議しました。

事務局 西宮さん 組織建設

組織を作っていくには班会を開くのが理想と理解しているが、会員の減少で班内の会員数が3名を切る班の統合となり班員同士の距離が遠くなり、班会ができなくなつて

いるなど各民商で悩みであることが理解できました。60代の方からは、「若い会員が集まり、活動にできてくれない」「会員の働く時間が長くなり、班会の時間に仕事から戻らない方が多い」等、様々な意見がでました。メールやLINEで気軽に連絡がとれる半面、相手の「顔」（状況）、声の微妙な変化に合わせて語る、聞くの「会話」を大事にすべき。との考えは民商の強みを知らせることに繋がることであると共有できました。



事務局 吉田さん 組織・財政

この分科会は、決算・予算委員会が少し早く終わったので、急ぎよ開催されました。私が、吹田でも強めていかなければと感じたことは、寝屋川民商の活動です。ここでは、財政部会が毎月開催され、3か月以上の会費未納者の状況が細かく話し合わせ、それを支部へ持って帰って役員会で「いつ、誰と誰で訪問するのか」を決めて未収者訪問を事務局任せにしないで、支部の責任で役員が訪問し、会費の集金を行っています。吹田でも未収者の名簿を出して、一定の状況は話し合いますが、いつ誰が訪問するのかは決められないことが多いので、事務局・役員の連携も強めながら、未収者を出さない取り組みを強めたいと思います。

障がい者に冷たい仕打ちはやめよ

合意形成の努力もなく、民主主義にも反する

吹田の障がい者福祉を切り捨てるな！共同実行委員会「結成のつどい」が4月23日の昼の部と夜の部の2回で開催され、昼の部には167名、夜の部には117名が参加しました。この集会には吹田市内の52の団体からも賛同が寄せられました。この結成のつどいには来賓として府議会議員の豊田さん、石川さんや市議会議員の塩見さん、柿原さん、竹村さん、山根さん、上垣さん、玉井さん、馬場さん、梶川さん、足立さん、五十川さんが参加されました。これまでの経過が報告され、関係者との調整・相談・説明もなく、突如議案答弁で「重度加算」の切り捨てが公表されたことなどが報告されました。参加者からの発言・交流も行われ、作業所に通う障がい者の方々とその家族、作業所の職員から「国連の障がい者権利憲章にある『私達のことを私達抜きで決めないで』を吹田市は守ってほしい。」「関係者に相談も説明もなく意思決定がされては、今後吹田市を信用できない。」と声が上がりました。



商工新聞は経営のヒント・ノウハウの知恵がいっぱい 毎週必ず届けましょう
会費集金は会員の心をあしめる活動です 毎月10日までには集めましょう